

会 議 錄

名 称	令和7年度 松山市子ども・子育て会議 全体会（第2回）
事務局	こども家庭部こどもえがお課 TEL 089(948)6039 FAX 089(934)1822
開催日時	令和7年11月4日（火） 午前9時30分～午前10時35分
開催場所	松山市青少年センター3階 大ホール
出席者	委 員 安藤有紀、池田秀彦、宇津見亮子、大原淑子、實藤むつみ、竹安美月、 田中美紀、友川礼、中岡彩、中川恵津子、中島康史、二宮一朗、 濱田由紀、渕上悟、村岡則子、安永耕造、渡部梨乃 (五十音順、敬称略) 計17名
	事務局 こども家庭部 部長 井出修敏、副部長 高橋邦光、副部長 中野朱美 ほか 合計35名
議 題	第2期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価等について
議事内容	(1) 開 会 (2) 報告事項 ①第2期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について ②こども計画に関するアンケート調査について (3) 協議事項 ①松山市こども計画及び第3期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価方法について ②公設児童クラブの運営体制について (4) 連絡事項 (5) 閉 会
	【委員からの意見等（一部抜粋）】 ●資料2「こども計画に関するアンケート調査について」 委員：18～39歳の回答者について、就労している方なのか、学生なのか、政策の分析にもつながると思うので、そのあたりを表記して市HPに公開することが可能か。 事務局：アンケートの中に、学生かどうかを回答いただく項目があるので、学生なのか、それ以外の方なのかを、分けて公表することは可能。 委員：回答数全体に占める回答割合で小学生が44.4%、中学生28.7%のことですが、なぜこんなにも差がでているのか。 事務局：令和6年度に行ったこども計画策定のアンケート同様、教育委員会を通じて回答のお願いをしているが、原因も含めて分析を行いたい。 ●資料4「公設児童クラブの運営体制について」 委員：公設児童クラブ職員の年齢構成について、5年前と比べて20～24歳が伸びていることが分かり、ポジティブな面もこのグラフで読み取ることができる。この年代（20～24歳）の雇用が伸びた要因の分析をしていただき、人材確保のヒントがあれば示していただきたい。 委員：児童クラブがうまく活用できることで、働くことを制限されている実態がないのかということを、企業にヒアリングしてはどうかと思う。企業が、児童クラブを利用する世代のニーズをどう把握しているのか、働き方はどうしているのかなどを聞いてみてはどうか。 事務局：ご意見を参考に前向きに取り組んでいきたいと思います。 委員：1つの運営委員会で、利用者の多様化するニーズにすべて応えるということは、難しい。少子化が進む中、登録児童数は年々増加しているので、早く検討をする必要があるのではないかということは常々思っている。 ●協議事項(3)①及び(3)②に関して、事務局案のとおり承認。

備考（資料）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 第2回 松山市子ども・子育て会議 次第 ・令和7年度 第2回 松山市子ども・子育て会議 配席図 ・松山市子ども・子育て会議委員名簿 ・資料1 第2期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について ・資料2 松山市こども計画に関するアンケートについて ・資料3 松山市こども計画及び第3期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価方法について ・別紙1 「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」点検・評価シート ・別紙2 「松山市こども計画」点検・評価シート ・資料4 公設児童クラブの運営体制について
公開・非公開	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 全部公開 部分公開 非公開 </div>
傍聴者数	5人（5席）